

**「みやざきボランティア体験月間2021」
(7~9月)**

報 告 書

【提唱団体】

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

【後援団体】

宮崎県

宮崎県教育委員会

宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

【協力団体】

市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）

NPO・ボランティア団体



はじめに

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から、毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置づけ、市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）やNPO・ボランティア団体の協力のもと様々なボランティア体験プログラムを提供し県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援しています。

令和2年以降、新型コロナウイルス感染症の影響により、県独自の緊急事態宣言及び国の蔓延防止措置が発令される中、本事業においても、計画の変更や中止を決めたケースが数多く見受けられました。

その一方で、感染予防対策を講じつつ実施された体験プログラムは38本、プログラムへの参加者は824人、また実施にあたり協力いただいたNPO・ボランティアの方々は229人となりました。

プログラムの中にはNPO・ボランティア団体の活動を体験するものから、高齢世帯の困り事を解決するもの、高齢者施設へ作品を届ける活動など、様々な工夫をこらした体験プログラムが行われました。

新型コロナウイルス感染症の収束がまだ見えない中ではありますが、今後も市町村社会福祉協議会（市町村ボランティアセンター）及びNPO・ボランティアの方々と協力しながら、様々なボランティア体験プログラムを提供することにより、県民のボランティア活動への高まり、参加につながっていけば幸いです。

本報告書では、実施された体験プログラム38本全てを掲載しましたのでご覧ください。

最後に、体験月間に御協力いただきました各市町村社会福祉協議会やNPO・ボランティアの方々をはじめ御協力をいただきました全ての方々に感謝申し上げます。

令和3年12月

社会福祉法人宮崎県社会福祉協議会

目 次

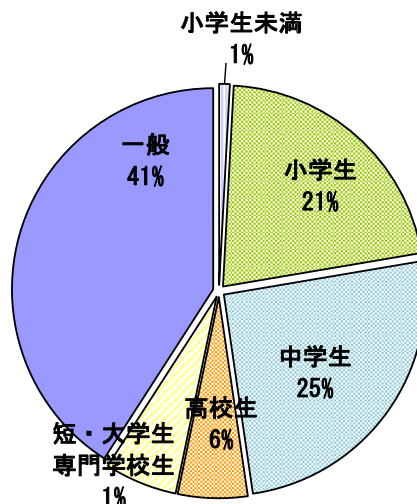
1	世代別参加者数	1
2	分野別参加者数	2
3	ボランティア体験プログラムの内容	
(1)	宮崎市社会福祉協議会 「ボランティア体験メニュー」	3
(2)	宮崎市社会福祉協議会田野支所 「わんぱく福祉体験 I」	4
	「わんぱく福祉体験 II」	5
(3)	宮崎市社会福祉協議会佐土原支所 「わんぱくふくし体験～捨てるお菓子袋を使って小物入れを作ろう～」	6
(4)	宮崎市社会福祉協議会高岡支所 「音声訳ボランティア体験」	7
(5)	都城市社会福祉協議会山田サテライト 「環境美化活動」	8
(6)	都城市社会福祉協議会高崎サテライト 「ボランティアの日体験活動」	9
(7)	延岡市社会福祉協議会 「～ブラック釣り駆除活動～」	10
	「～花壇の手入れ・苗植え～」	11
	「～子ども食堂～」	12
	「～おもちゃの修理・マスコット作成～」	13
	「～使用済み切手の整理・発送～」	14
	「～シュルターの掃除～」	15
(8)	小林市社会福祉協議会 「小学校自由研究お助け講座in秀峰高校」	16
(9)	小林市社会福祉協議会野尻支所 「ボランティア体験事業」	17
(10)	えびの市社会福祉協議会 「お年寄りの困りごとお助け隊」	18
(11)	綾町社会福祉協議会 「福祉施設ボランティア体験」	19
(12)	三股町社会福祉協議会 「障がい者のガイドヘルプ体験」	20
(13)	高鍋町社会福祉協議会 「東小学校児童クラブに花をさか」	21
(14)	新富町社会福祉協議会 「中学生ボランティア体験-富田」	22
	「中学校ボランティア体験」	23
(15)	西米良村社会福祉協議会 「高齢者との清掃活動体験」	24
(16)	木城町社会福祉協議会 「おたのしみ・すこやか教室」	25
(17)	川南町社会福祉協議会 「みんなで守ろう、伊倉浜海岸」	26
(18)	都農町社会福祉協議会 「花いっぱいになーれボランティア」	27
	「折り紙で街を飾ろう」	28
	「音声訳体験」	29
(19)	美郷町社会福祉協議会南郷事業所 「神門神社（夏祭り）前の清掃活動体験事業」	30

(20)	美郷町社会福祉協議会西郷事業所		
		「屋内スポーツ施設の清掃ボランティア体験」	31
(21)	美郷町社会福祉協議会北郷事業所	「災害備品倉庫の清掃・整備活動」	32
(22)	諸塚村社会福祉協議会	「ペットボトルキャップでボランティア」	33
(23)	椎葉村社会福祉協議会	「元気与え隊」	34
		「商品作りを手伝い隊」	35
(24)	高千穂町社会福祉協議会		
		「みそ玉作り体験～みそ玉を作ってフードバンクに寄付しよう」	36
		「絵手紙を書いて高齢者施設に届けよう」	37
(25)	五ヶ瀬町社会福祉協議会	「夏ボランティア体験隊」	38
		「加勢の日～花と笑顔でつなげよう～」	39
		「配食サービスボランティア ～食を通して笑顔を届けよう～」	40
4	みやざきボランティア体験月間 2020 実施要領		41

「みやざきボランティア体験月間2021」～世代別参加者数～

		小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	総参加者数
宮崎市	本所				5	4	1	10
	清武支所							0
	田野支所		8	2			2	12
	佐土原支所		28	1			12	41
	高岡支所		6	3				9
都城市	本所							0
	山之口支所							0
	高城支所							0
	山田支所		9				12	21
	高崎支所			34			4	38
延岡市		3	13	18	38	7	79	
日南市							0	
小林市	本所				14			14
	須木支所							0
	野尻支所				5		2	7
日向市							0	
串間市							0	
西都市							0	
えびの市				55			6	61
国富町								0
綾町			1	17	3			21
三股町						4		4
高原町								0
高鍋町			15				4	19
新富町				21				21
西米良村			7				18	25
木城町			34				6	40
川南町	1	3	18	1	2	70	95	
都農町		21				8	29	
門川町							0	
美郷町	南郷事業所			28			7	35
	西郷事業所						15	15
	北郷事業所						4	4
諸塚村	4	9	1			133	147	
椎葉村			4			11	15	
高千穂町	1	23				7	31	
日之影町							0	
五ヶ瀬町	1	10	12			8	31	
総参加者数		7	177	209	46	48	337	824

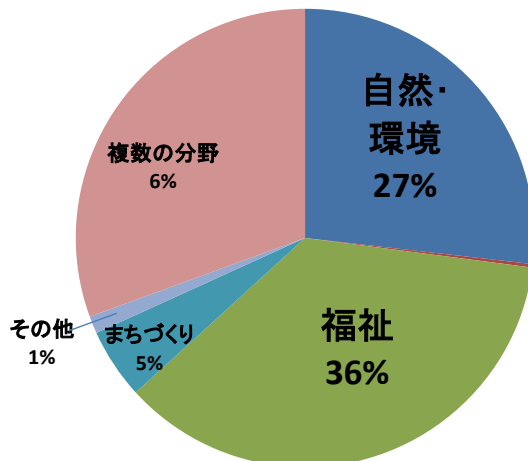
みやざきボランティア体験事業2021
～世代別～




「みやざきボランティア体験月間2021」～分野別参加者数～

		自然・環境	参加者数	国際交流・多文化共生	参加者数	福祉	参加者数	防災・安全	参加者数	まちづくり	参加者数	文化・芸能	参加者数	複数の分野	参加者数	その他	参加者数	プログラム数	体験プログラム参加者数	体験プログラム協力者数
宮崎市	本所				1	10												1	10	0
	清武支所																	0	0	0
	田野支所				2	12												2	12	6
	佐土原支所													1	41			1	41	2
	高岡支所				1	9												1	9	6
都城市	本所																	0	0	0
	山之ロサテライト																	0	0	0
	高城サテライト																	0	0	0
	山田サテライト	1	21															1	21	3
	高崎サテライト	1	38															1	38	15
延岡市		1	33	1	2	1	16			1	18					2	10	6	79	61
日南市																		0	0	0
小林市	本所					1	14											1	14	0
	須木支所																	0	0	0
	野尻支所					1	7											1	7	1
日向市																		0	0	0
串間市																		0	0	0
西都市																		0	0	0
えびの市					1	61												1	61	0
国富町																		0	0	0
綾町					1	21												1	21	0
三股町					1	4												1	4	0
高原町																		0	0	0
高鍋町	1	19																1	19	1
新富町					2	21												2	21	8
西米良村														1	25			1	25	3
木城町					1	40												1	40	3
川南町	1	95																1	95	23
都農町					1	6			2	23								3	29	14
門川町																		0	0	0
美郷町	南郷事業所													1	35			1	35	8
	西郷事業所	1	15															1	15	2
	北郷事業所													1	4			1	4	1
諸塚村														1	147			1	147	20
椎葉村					2	15												2	15	10
高千穂町					2	31												2	31	16
日之影町																		0	0	0
五ヶ瀬町					3	31												3	31	26
プログラム数計		6	221	1	2	21	298	0	0	3	41	0	0	5	252	2	10	38	824	229

みやざきボランティア体験事業2021
～分野別～




社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 本所
-------	---------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験メニュー						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	社会福祉施設やボランティア団体での活動体験を通して、福祉への理解を深めることボランティア活動へのきっかけづくりつなげることを目的に福祉施設やボランティア団体等に行ったニーズ調査を元にボランティア体験メニューを作成した。 ボランティア希望者へ体験メニューを活用して、活動の紹介を行い、社会福祉施設等へのボランティア体験へ繋げた。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年7月～9月							
活動場所 (建物名等)	各福祉施設、団体等の活動場所							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							10名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				5	4	1	10名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>始めに、市内の中学校・高等学校・専門学校・大学、関係機関へボランティア体験メニューについて周知を行った。 コロナ禍により、体験受け入れ施設は減少したが、来所や電話によるボランティア活動希望者に対して、この体験メニューを活用して受け入れ施設の活動を紹介することができた。 また、ホームページを見られて、連絡された方もおり、コロナ禍であっても、ボランティア活動へつながるためのツールとして効果があったと感じた。</p> <div style="text-align: right;">  </div>							

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 田野支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名	わんぱく福祉体験- I						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	近年、家族構成の多様化で子どもと高齢者が交流する機会が減ってきている中、地域の見守りと異世代交流を目的に独居高齢者の方へ電話による安否確認と傾聴活動を体験した。						活動分野
							福祉
実施日	令和3年7月31日(土)						
活動場所(建物名等)	宮崎市田野総合福祉館						
協力団体	ほほえみコール						
総数 (体験者数+協力者数)							10名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		4	1			1	6名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						4	4名
活動の様子など	<p>最初にボランティア団体「ほほえみコール」の活動目的、取組み内容について、学んだ。</p> <p>その後、子どもたちが高齢者宅へ電話し、安否確認を行うと共にお互いの普段の様子について会話を交わした。</p> <p>体験した子どもたちは、しっかりと電話対応できており、電話先の高齢者の方も子ども達の声掛けに元気をもった様子だった。</p> <p>当日は、新型コロナウイルス感染予防の観点から、手洗い、消毒、マスク着用を徹底し行った。</p>						


社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 田野支所
-------	-----------------

ボランティア体験 プログラム名	わんぱく福祉体験-Ⅱ						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	コロナ禍で交流が途絶えている高齢者施設の利用者とのつながりを絶やさないことを目的に絵や絵手紙を届ける活動を実施した。						活動分野
							福祉
実施日	令和3年7月31日(土)						
活動場所 (建物名等)	宮崎市田野総合福祉館						
協力団体	ほほえみコール						
総 数 (体験者数+協力者数)							12名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		4	1			1	6名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						6	6名
活動の 様子など	<p>コロナ禍で高齢者施設への訪問が叶わなかったため、メッセージを書き込んだ絵を作成し届ける活動を行った。</p> <p>絵手紙講師より指導を受けた小中学生は「施設が明るく楽しくなるように」との思いを込めて作成していた。</p> <p>完成した作品は、ボランティア団体の方より高齢者施設に届けられた。</p> <p>当日は、新型コロナウイルス感染予防の観点から手洗い、消毒、マスク着用を徹底し間隔をあけて静かに行った。</p>						

社 協 名	宮崎市社会福祉協議会 佐土原支所
-------	------------------

ボランティア体験プログラム名		わんぱくふくし体験 ～捨てるお菓子袋を使って小物入れを作ろう～					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	<目的> 子ども達に「これも福祉になるんだ」をテーマに開催。福祉やボランティアに興味を持ってもらい、子どもでもできるボランティアなどを紹介、体験する。 <内容> 「子どもでもできる福祉」講話後、環境をテーマにゴミをリサイクルする体験（お菓子袋を使って小物入れを作成）を実施した。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和3年7月31日（土） ①10:00～12:00 ②13:30～15:30						
活動場所 (建物名等)	宮崎市佐土原地域福祉センター						
協力団体	傾聴ボランティアおじゃまの会						
総数 (体験者数+協力者数)						43名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		28	1			12	41名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						2	2名
活動の様子など	①講話 40分かけ、「福祉とは？」の説明、および、小学生でもできる福祉（ボランティア）は何かがあるか等を紹介。 小学1年生には少し難しいようであったが、活動をしたことのある児童もあり、保護者の方も含めボランティアの理解ができた。 ②ワークショップ 福祉の中で、わかりやすい「環境」をテーマに捨てるお菓子の袋を使ってファスナー付きの小物入れを作成した。また、空いた時間を活用してエコバックも作った。 ゴミの削減以外にも、高齢者の見守りや話し相手という活動を行う時に、作成した小物を活用する方法もあることを伝えた。						 



社 協 名	宮崎市社会福祉協議会高岡支所
-------	----------------

ボランティア体験プログラム名		音声訳ボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高齢者や視覚障がい者の生活を知り、音声伝える難しさやその大切さを学ぶことを目的に、音声訳ボランティアの体験と収録テープを視覚障がい者へ届ける活動を実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年8月3日（火）							
活動場所(建物名等)	高岡福祉保健センター穆園館							
協力団体	音声訳ボランティアあざみの会							
総数 (体験者数+協力者数)							15名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		6	3				9名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						6	6名	
活動の様子など	<p>始めに、音声訳に必要な手法の一つである「名前」のアクセントを学んだ後、自分の名前にアクセントつけて話す練習をした。発音ひとつで聞き手への伝わり方が聞き取りやすくなったと感じた。</p> <p>その後、テキスト読みの練習を重ね、小中学生に分かれて録音作業を行った。</p> <p>録音したテープを編集後、児童も視覚障がい者宅を訪問し、音声訳テープを手渡して届けた。訪問先の方からは、「ありがとうございます。」と感謝の言葉と後日お礼の手紙を頂いた。</p>							

社 協 名	都城市社会福祉協議会山田サテライト
-------	-------------------

ボランティア体験プログラム名		環境美化活動						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア団体の協力の元、施設の清掃活動を実施した。	活動分野						
		自然・環境						
実施日	令和3年7月28日（水）							
活動場所 (建物名等)	山田総合福祉センター							
協力団体	山田子どもボランティア「ひまわり隊」、民生委員児童委員 地域ボランティア							
総 数 (体験者数+協力者数)							24名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		9				12	21名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>当日は、小学生から大人まで総勢24名で日頃から利用している施設の清掃活動を行った。</p> <p>暑い中での作業であったが、窓ふきや草払い等もみんなで協力し、丁寧に取り組み、普段、行き届かない場所の清掃もできた。</p> <p>清掃活動を通し、大人と子供の交流を深める機会にもなった。</p>							
								

社 協 名	都城市社会福祉協議会 高崎サテライト
-------	-----------------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティアの日体験活動						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動の楽しさや意義を知ってもらうことを目的にボランティア団体の協力のもと、清掃活動を実施した。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和3年8月1日（日）							
活動場所 (建物名等)	高崎総合公園及び周辺道路							
協力団体	高崎町ボランティア連絡協議会							
総 数 (体験者数+協力者数)							53名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			34			4	38名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						15	15名	
活動の様子など	<p>当日は、コロナ対策のため、ボラ連協1名に対し、中学生3～4名のチームを作り、高崎総合公園及び周辺道路のゴミ拾いを行った。</p> <p>ボランティアの方からは、ゴミの分別の説明を受けたり、学校生活や部活などを話題にあげながら、交流を図っていた。</p> <p>雨の中の活動体験となり、黙々と作業をしていたが、今回の体験がボランティア活動の楽しさや意義を知るきっかけになったと感じた。</p>						 	

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------


ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～ブラックバス釣り駆除活動～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 NPO法人金堂ヶ池を美しくする会の協力を得て、外来魚（ブラックバス）の駆除活動体験を実施した。						活動分野 自然・環境	
実施日	令和3年7月4日（日）、7月18日（日） 8月1日（日）、8月22日（日） 9月5日（日）、9月19日（日）							
活動場所 (建物名等)	西階公園金堂ヶ池							
協力団体	NPO法人金堂ヶ池を美しくする会							
総 数 (体験者数+協力者数)							51名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		3	10	10	4	6	33名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						18	18名	
活動の様子など	<p>ブラックバス釣り駆除活動を体験した方は、魚釣りが好きな方が多く、自分の特技を生かしたボランティア活動に取組めるとあって、沢山の方に参加いただいた。初めて参加した方の中には30cmを超えるブラックバスを釣りあげた方もいた。</p> <p>この期間を通して、多くの方にブラックバス駆除活動について知っていただくきっかけとなった。</p>							




社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～花壇の手入れ・苗植え～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 フラワーフレンズに協力を得て、植物園内の花壇の手入れや苗植え体験を実施した。						活動分野
							まちづくり
実施日	令和3年7月13日（火）、27日（火）						
活動場所 (建物名等)	延岡植物園						
協力団体	フラワーフレンズ						
総 数 (体験者数+協力者数)							30名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
					18		18名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						12	12名
活動の 様子など	<p>延岡のまちづくりの一環として活動しているフラワーフレンズの活動を体験した。暑い中、草取りや苗植えに一生懸命取り組まれ、活動後は、フラワーフレンズ会員の方とお茶を飲みながら交流を行うこともできた。</p> <p>会長は「若い方に、フラワーフレンズの活動を知ってもらえてとても嬉しいです」と喜ばれていた。</p>						


社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～子ども食堂～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 市内の子ども食堂の協力得て、調理、配膳、受付、消毒作業等を体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	子ども食堂土曜給食 : 7月3日(日)、8月7日(日) 子ども食堂のべおか今山 : 7月2日(金)、7月24日(土) みんなの食堂♡牧 : 7月17日(土) 幼老交流ととろ食堂 : 7月10日(土)、7月24日(土)							
活動場所 (建物名等)	子ども食堂土曜給食: 山下新天街の中・今山登り口 子ども食堂のべおか今山: レスパイトサービスあるたすLCC みんなの食堂♡牧: 牧公民館 幼老交流ととろ食堂: 一ヶ岡コミュニティセンター							
協力団体	子ども食堂土曜給食 子ども食堂のべおか今山 みんなの食堂♡牧 幼老交流ととろ食堂							
総数 (体験者数+協力者数)							16名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			3	5	7	1	16名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>子ども食堂の運営補助として、調理や食材の盛り付けの手伝いを行った。また、机や椅子の準備や清掃、テーブル等の消毒作業などに積極的に取組まれていた。子ども食堂のスタッフも、ボランティア活動に参加いただいたことを喜んでいました。</p> 							


社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～おもちゃの修理・マスコット作成～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 おもちゃ病院のべおかに協力を得て、簡単なおもちゃの修理やマスコット作成を体験した。						活動分野	
							その他	
実施日	令和3年7月10日（土）、7月24日（土）							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	おもちゃ病院のべおか							
総 数 (体験者数+協力者数)							17名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				3	4		7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						10	10名	
活動の様子など	<p>おもちゃ病院のべおかが行っている簡単なおもちゃの修理の手伝いを行った。 また、交通安全協会へ寄付し、その後新小学一年生に配布されるマスコット人形の作成も行った。 マスコット人形はスタッフの方から手順を教わりながら作成することができた。</p>							

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験 ～使用済み切手の整理、発送～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 延岡草の実会に協力を得て、使用済み切手の整理や発送作業の体験した。整理された切手は、日本キリスト教海外医療協（JOCS）へは発送され、そこでの収益はアジア・アフリカの発展途上国の医療補助に使われている。						活動分野	
							国際交流・多文化共生	
実施日	令和3年7月2日（金）							
活動場所 (建物名等)	延岡市社会福祉センター							
協力団体	延岡草の実会							
総 数 (体験者数+協力者数)							17	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
					2		2	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						15	15	名
活動の様子など	延岡草の実会は、創立57年になり、当初から使用済み切手の整理等の活動を続けている。 活動体験では、使用済み切手の仕分け作業を行いながら、これまでの活動について話を聞くことができた。							

社 協 名	延岡市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	ボランティア体験 ～シェルターの掃除～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアに関心のある方に対して、地域のボランティアグループ等での体験を通じて、ボランティア活動へのきっかけづくりを提供する。 Animal Buddyに協力を得て、シェルターの清掃活動を体験した。						活動分野 その他
実施日	令和3年7月3日（土）、8月8日（日）						
活動場所 (建物名等)	構口シェルター						
協力団体	Animal Buddy						
総 数 (体験者数+協力者数)							9名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
					3		3名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						6	6名
活動の 様子など	AnimalBuddyが運営している、犬と猫のシェルターでの清掃や犬の散歩などの活動を会員の方に教わりながら行った。						

社 協 名	小林市社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験 プログラム名	小学生自由研究お助け講座in秀峰高校						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアをはじめのきっかけづくりを目的として、夏休みの宿題（自由研究）の学習支援ボランティア体験を実施した。						活動分野
							福祉
実施日	令和3年7月27日（火）						
活動場所 (建物名等)	小林秀峰高等学校						
協力団体	小林秀峰高等学校						
総 数 (体験者数+協力者数)							14名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
				14			14名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
							0名
活動の 様子など	<p>学習支援ボランティアを実施するにあたり、事前に活動内容の企画、当日の進行表の作成などに携わりながら、計画を立て実施した。</p> <p>当日は、高校生主導で講座の運営も行い、夏休みの自由研究（「パソコンのエクセル講座」と「紙飛行機の講座」）の2チームに別れて学習支援を行った。</p> <p>慣れない司会進行等で戸惑う様子もあったが、小学生にも優しく声掛けをしながら、活動を行っていた。</p>						 

社 協 名	小林市社会福祉協議会 野尻支所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名		ボランティア体験事業						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	学習支援ボランティアグループの設立につなげることを目的に事前に学習支援前から携わり、当日の学習支援ボランティア体験を実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年7月31日(土)							
活動場所(建物名等)	野尻町保健福祉センター 友愛会館							
協力団体								
総数 (体験者数+協力者数)							8名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
				5		2	7名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						1	1名	
活動の様子など	<p>小学生は宿題別(絵画・習字・工作・問題集・作文等)に分かれ、ボランティアの方にアドバイスを受けながら取り組んだ。ボランティア活動者はそれぞれ得意分野を活動の場で活かすことができ、意欲的に児童に関わっていた。児童からは「家でするより集中でき、宿題が進んだ」「宿題もボランティアのサポートがありよかった。楽しかった。」という声もあがり、保護者からも大変喜ばれた。</p> <p>また、学習支援を通して、世代間交流を図ることができた。</p>							



社 協 名	えびの市社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	“お年寄りの”「困りごとお助け隊」						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	地域での生活支援体制づくりに向けて、中学生が高齢者の生活上の困りごとについて、自分たちにできる活動を考えてもらうことを目的に、一人暮らし高齢者宅の庭の草取りや窓ふきなどの清掃活動を実施した。						活動分野
							福祉
実施日	真幸地区 令和3年7月28日（水）、上江地区 令和3年7月30日（金）、加久藤地区 令和3年8月3日（火）、飯野地区 令和3年8月5日（木）						
活動場所（建物名等）	えびの市内の高齢者宅						
協力団体	えびの市在宅介護支援センター						
総 数 （体験者数+協力者数）							61名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	0	0	55	0	0	6	61名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
	0	0	0	0	0	0	0名
活動の様子など	<p>「困りごとお助け隊員」（中学生55名）は、3～4名のグループに分かれ、市内の高齢者宅15件の清掃活動を行った。</p> <p>中学生は事前に依頼のあった高齢者宅に伺い、草取りや窓ふきなど1時間程度の清掃活動に汗を流した。</p> <p>作業を依頼した高齢者からは、中学生が頑張る姿に感動され、涙ながらに感謝の気持ちを口にされる方もおられた。</p> <p>参加した中学生は、「依頼者の方に喜んでもらえて嬉しかった。」「またボランティアに参加したい」など、ボランティア活動の達成感や満足感を感じてもらうことができた。</p> <p>また学校側からも大変好評で、今後もこのようなボランティア活動があれば是非参加させてほしいとの声をいただき、学校との協力体制の構築にも繋がった。</p>						



社 協 名	綾町社会福祉協議会
-------	-----------

ボランティア体験プログラム名		福祉施設ボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	町内福祉施設での利用者との交流や清掃活動などを実施した。	活動分野						福祉
実施日	令和3年7月26日（月）～8月27日（火）							
活動場所 (建物名等)	町内の保育所および児童館							
協力団体	町内の保育所および児童館							
総 数 (体験者数+協力者数)							21名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		1	17	3			21名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>町内保育施設および児童館において園児や児童とのふれあい、着替え等の手伝い（介助）を体験した。特に高校生は、幼児の食事介助を行ったが「食事介助は初めての体験で、参加できて良かった」というご意見を頂いた。</p> <p>福祉・ボランティアの理解へつなげることができた。</p>							



社 協 名	三股町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		障がい者のガイドヘルプ体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	『障がい者ふれあいサロン』において、視覚障がい者、知的障がい者、身体障がい者の方の理解と交流を目的ガイドヘルプ体験を実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年8月26日（木）							
活動場所 (建物名等)	三股町総合福祉センター							
協力団体	都城医療センター附属看護学校							
総 数 (体験者数+協力者数)							4名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
					4		4名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
							0名	
活動の様子など	<p>『ふれあいサロン』を利用されている障がい者の方へ体調の聴き取りや声かけを行った。その後、行動観察しながら、個々に合わせて介助を行った。</p> <p>また、書道の時間は、筆使いを教えたり、声掛けして交流を図ることができた。</p> <p>この体験でひとりひとりに合わせた、心身の負担軽減方法についても学ぶことができた。</p>							



社 協 名	高鍋町社会福祉協議会
-------	------------



ボランティア体験プログラム名	東小学校児童クラブに花を咲かせよう						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動を始めるときっかけ作りになる事を目的に花壇に花を植える活動やごみ収集等の清掃を行う。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和3年7月2日（金）						
活動場所(建物名等)	東小学校児童クラブ						
協力団体							
総 数 (体験者数+協力者数)							19名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		15				4	19名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						1	1名
活動の様子など	<p>始めに「ボランティアとは」というテーマでお話を聞いた後、花壇の花植えとゴミ拾い等の清掃活動を行った。</p> <p>子ども達の中には、「ボランティア」という言葉を初めて聞いた子もいたが、興味が沸いたようで熱心に話を聞いていた。</p> <p>作業が始まると、時折、笑顔を見せながら取組んでおり、子ども達の様子から、ボランティア活動の楽しさを知るきっかけ作りになったと感じた。</p>						

社 協 名	新富町社会福祉協議会
-------	------------


ボランティア体験 プログラム名	中学生ボランティア体験（富田）						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動に対するきっかけ作りとボランティア意識の向上を目指すことを目的に、助け合いカードを使いながら「自分たちにできるボランティアとは何か」について学んだ。合わせて、高齢者運動教室の会場準備及び会の運営補助や高齢者へのレクリエーションのサポートを体験した。						活動分野
							福祉
実施日	令和3年8月3日（火）						
活動場所 (建物名等)	新富町総合交流センター「きらり」 新富町老人福祉センター						
協力団体	一般介護予防教室「こむすカフェ」						
総 数 (体験者数+協力者数)							10名
うち、ボランティア体験 プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一般	計
			7				7名
うち、ボランティア体験 プログラムを企画運営した ボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門高校生	一 般	計
						3	3名
活動の 様子など	<p>初めに、「ボランティアとは何なのか？」という議題に対し、助け合いカードを使用しながら考える時間を設けた。その中でゴミ拾い等の清掃活動だけではなく、自分の身の回りの中で取り組めることがあることに気づくことができた。</p> <p>その後、高齢者一般介護予防教室「こむすカフェ」の運営補助として、会の受付や高齢者の方のバスの乗車介助、レクリエーションのサポートを行った。介助についても指導者の方に教わりながら転倒されないように十分な注意を払った。</p> <p>また、高齢者の方への接し方や介助を行う時の注意点など多くの事を学んだ。利用している高齢者からは、「若い方々と交流することで元気が出た」との声が聞かれた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防の観点より人数を制限して実施した。</p>						



社 協 名	新富町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名	中学生ボランティア体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動に対するきっかけ作りとボランティア意識の向上を目指すことを目的に、地元ボランティアの方の講話を聞いた後地域課題を見つけ「自分たちにできるボランティアとは何か」について学ぶ。合わせて、高齢者運動教室の会場準備及び会の運営補助や高齢者へのレクリエーションのサポートを体験した。						活動分野
							福祉
実施日	令和3年8月5日（木）						
活動場所 (建物名等)	新富町上新田学習館						
協力団体	個人ボランティア 一般介護予防教室「こむずカフェ」						
総 数 (体験者数+協力者数)							19名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			14				14名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						5	5名
活動の様子など	<p>初めに、「ボランティアとは何なのか」という議題に対し、地域密着の居場所作りの運営やウミガメ保護活動をしている地元のボランティアの方々から話を聞いた。講話後、模造紙に地域の課題を書き出し、自分たちでできるボランティアについて考える時間を設けた。その後は、高齢者一般介護予防教室「こむずカフェ」の運営補助として、会の受付、高齢者の方のバスの乗車介助、レクリエーションのサポートを行った。また、利用している高齢者から戦争の話聞くこともできた。高齢者の方からは、「若い方々と交流できて良かった」との声が聞かれた。</p> <p>新型コロナウイルス感染症予防の観点より人数を制限して実施した。</p>						 

社 協 名	西米良村社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	高齢者との清掃活動体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	西米良村で大切にされている菊池家の歴史にふれ、次世代に語り継ぐ場になることを目的に、高齢者の方と交流を図りながら、八幡神社及び菊池家墓地の除草・清掃活動を実施した。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和3年9月23日（木）						
活動場所 (建物名等)	村所八幡神社						
協力団体	村所東長寿会、村所西さんさんクラブ、村所子ども会、西米良村戦没者遺族会						
総 数 (体験者数+協力者数)							28名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	0	7	0	0	0	18	25名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
	0	0	0	0	0	3	3名
活動の様子など	<p>新型コロナの感染予防のため、規模縮小して、村所八幡神社境内及び菊池家墓地の清掃活動を行った。当日は、老人クラブの方や村所地区の小学生、保護者の方も活動に参加された。</p> <p>高齢者の方と一緒に清掃を行いながら、菊池家の歴史のことや清掃を行っている場所で幼少期に遊んでいた話を聞きながら、互いに楽しそうにおしゃべりしている姿が見られた。</p> <p>また、西米良村戦没者慰霊祭の準備も行われており、忠霊塔を清掃する際は、忠霊塔の中に眠っている212柱の位牌を見せていただいた。</p> <p>その後、戦争体験の話なども伺うことができ、小学生にとっては大変貴重な体験になった。</p>						

社 協 名	木城町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		おたのしみ・すこやか教室					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	聴覚障がい者の日常を知り理解を深めるとともに、コミュニケーション手段である手話学習を行った後、聴覚障がい者の方へ支援を行いながら手話ボランティア活動を体験することを目的に実施						活動分野
							福祉
実施日	1回目 令和3年9月 6日(月) 2回目 令和3年9月15日(水)						
活動場所(建物名等)	1回目 椎木児童館 2回目 高城児童館						
協力団体	木城手話サークル「もくもく」						
総数 (体験者数+協力者数)		1回目 23名 2回目 17名				43名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		34				6	40名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
活動の様子など	<p>聴覚障がい者の方に日頃、使っている会話を交えながら手話を教えて頂いた。子ども達も自分の名前がどのように手話で表現されているか積極的に質問していた。</p> <p>また、聴覚障がい者の方とコミュニケーションを図りながら、手話ボランティア活動の体験をした。</p>						


社 協 名	川南町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		みんなで守ろう、伊倉浜海岸！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	伊倉浜海岸の環境保全を目的として、浜の清掃活動を行う。						活動分野	
							自然・環境	
実施日	令和3年7月31日（土）							
活動場所 (建物名等)	川南町伊倉浜海岸							
協力団体								
総 数 (体験者数+協力者数)							118	名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	1	3	18	1	2	70	95	名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						23	23	名
活動の様子など	<p>伊倉浜海岸はアカウミガメの産卵地でもあるため、清掃活動前に今年の上陸数および産卵数等を報告し、本活動がアカウミガメのためになることを学び、その後清掃活動を行った。回収されたゴミは特に流木、缶、瓶、プラスチック等が多かった。</p> <p>当日は、感染対策として、シャトルバスの乗車人数の制限、検温、消毒を徹底した上で実施した。</p> <p>怪我人もなく、無事に清掃活動を終えることができた。</p>							
								

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		花いっぱいになーれボランティア						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	まちづくりの一貫として、地域の方に花を観て元気になってもらおうとの思いから、花を植えたプランターを病院や薬局、駅等に設置する活動体験を実施した。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和3年8月4日（水）							
活動場所(建物名等)	都農町社会福祉協議会（老人福祉館・車庫倉庫）							
協力団体	都農町老人クラブ連合会 役員 三鍋種苗店							
総 数 (体験者数+協力者数)								20名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		10				5	15名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						5	5名	
活動の様子など	<p>町内の小学生10名とその保護者5名、都農町老人クラブ連合会役員3名、種苗店より2名の合計20名で花植えのボランティアを行った。</p> <p>この日は暑さが厳しかったが真夏の暑さに負けず、ひとりでも多くの町民の方に花を観て元気になってもらいたいとの心を込めて、プランターに花植えを行った。完成した15鉢のプランターは幸せの笑顔がいっぱいに咲くようにとの思いを込め、集合写真と共に町内の図書館等に飾られた。活動者からは「花を観て笑顔になってもらえたらいいですね！」との声を頂いた。</p>							

社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		折り紙で街を飾ろう						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	まちづくりの一貫として、都農町の主要施設、都農駅と道の駅つなの2箇所に折り紙作品を使って飾りつけを行う活動を実施した。合わせて、町内福祉施設、学校等でボランティア活動している団体「都農町ふれあい会」との交流も図った。						活動分野	
							まちづくり	
実施日	令和3年7月28日（水）							
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会（老人福祉館 大広間）							
協力団体	都農町ふれあい会							
総 数 (体験者数+協力者数)							14名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		5				3	8名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						6	6名	
活動の様子など	<p>作品作りでは、ボランティアの方に作成手順のアドバイスを受けながら、ブドウの実や葉を折り紙で型取って台紙に貼った。始めは、戸惑っていた子どもたちも、作品が出来上がるにつれ、「おいしそうなブドウの実ができた」「折り方も教えてもらって、楽しいね」と会話も弾み、コミュニケーションも図れていた。</p> <p>また、作成された作品等を都農駅、道の駅つのに飾ることに触れると「たくさんの人たちに見てもらい、喜んでもらいたい」と意気込みも聞かれた。この活動体験は、令和3年8月4日（水）宮崎日日新聞に掲載された。</p>							
								


社 協 名	都農町社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		音声訳体験						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	視覚障がい者の方々に定期的に発行される町週報をテープに録音して届けている音声訳グループ『ひなげし』のボランティア活動を体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年7月26日（月）							
活動場所 (建物名等)	都農町社会福祉協議会（老人福祉館 大広間・作業室）							
協力団体	音声訳グループ ひなげし							
総 数 (体験者数+協力者数)							9名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		6					6名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						3	3名	
活動の様子など	<p>始めに、音声訳グループ『ひなげし』の方から活動内容について説明を受け、視覚障がいについて考えた。</p> <p>その後、ボランティアの必要性を理解した上で録音作業を行った。児童は聞き手の気持ちを考えながら、教えてもらった通り声に強弱をつけ、はきはきと発音しながら取り組んでいた。</p> <p>録音までの一連の作業様子から児童が楽しみながら活動をしていることが伺えた。</p>							


社 協 名	美郷町社会福祉協議会南郷事業所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名	神門神社「夏祭り」前の清掃活動体験事業						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	高齢者との交流を通してボランティアの意義を学ぶことや、地域の伝統文化を若い世代に語り継ぐ機会となることを目的に清掃活動を実施した。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和3年7月12日（月）						
活動場所 (建物名等)	神門神社境内						
協力団体	神門神社、美郷南学園、高齢者クラブ甞若会						
総 数 (体験者数+協力者数)							43名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			28			7	35名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						8	8名
活動の様子など	<p>コロナ感染症予防対策を講じた上で、神門神社の清掃活動の体験を実施した。</p> <p>作業前のオリエンテーションでは、神門神社の宮司から清掃についての注意事項の他、「夏祭り」の由来や歴史について話を聞くことができた。参加した中学生は、注意点を確認するとともに、地域の伝統文化に興味津々な表情で熱心に耳を傾けていた。</p> <p>また、高齢者クラブの方が中学生に清掃の仕方を教えるなど、互いに言葉を交わしながら終始作業を進めていた。</p> <p>清掃作業後は、全員清々しい表情で充実感に浸っているようだった。</p>						


社 協 名	美郷町社会福祉協議会 西郷事業所
-------	------------------

ボランティア体験プログラム名		屋内スポーツ施設の清掃ボランティア体験					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	施設愛護に対するボランティアの機運を高めることを目的に、屋内スポーツ施設において、窓拭きやゴミ拾いの清掃ボランティア活動の体験を実施した。						活動分野
							自然・環境
実施日	令和3年9月29日（水）						
活動場所 (建物名等)	すぱーく西郷						
協力団体	美郷町西郷高齢者クラブ						
総 数 (体験者数+協力者数)						17名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						15	15名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計
						2	2名
活動の様子など	<p>新型コロナウイルスの影響もあり、盛大に行うことはできなかったが、ボランティアの方と活動に参加された方の協力を得て無事実施することができた。</p> <p>参加者の皆さんからは、「いつも使用させてもらっているので、きれいにしないといけない」というお声を聞くことができ、施設愛護に対するボランティアの機運を高めることができた。</p>						

社 協 名	美郷町社会福祉協議会北郷事業所
-------	-----------------

ボランティア体験プログラム名		災害備品倉庫の清掃・整備活動					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア団体協力の元、新たな人材の育成を図ることを目的に災害備品の使用方法や目的を学び合わせて災害備品倉庫内の清掃整備活動を実施した。						活動分野
							複数の分野
実施日	令和3年8月27日（金）						
活動場所 (建物名等)	北郷保健センター敷地内の災害備品倉庫						
協力団体	北郷赤十字奉仕団						
総 数 (体験者数+協力者数)							4名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						4	4名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						1	1名
活動の様子など	<p>コロナ禍で参加者を集めることが難しく、当日は4名の方の参加であった。</p> <p>倉庫内は、埃っぽく、かなり不衛生な環境であったため一旦、倉庫内の荷物を外へ出す作業から行い、その後清掃活動を実施した。</p> <p>備品は、ひとつひとつ点検し、破損物等は廃棄した。</p> <p>また、清掃後は倉庫内に保管されている物が明確にわかるよう整備した。少ない人数での活動であったが終了後は、とても充実した気持ちになった。</p> <p>今後、災害に備えて備品の把握、点検作業、倉庫内の清掃活動を定期的に行うことが大事であると再認識した。</p>						

社 協 名	社会福祉法人 諸塚村社会福祉協議会
-------	-------------------


ボランティア体験プログラム名		ペットボトルキャップでボランティア！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	ボランティア活動への関心と理解を深めると共に、ペットボトルキャップの収集を通して、世界の子どもにワクチンを届ける活動に貢献していくことを目的に住民誰もが「いつでも」「気軽に」取り組めるボランティア活動として実施した。 キャップ収集の取り組み目的、収集方法、還元の仕組みなどが記載されたチラシを作成し配布及び防災無線を活用し全住民への周知を行った。						活動分野	
							複数の分野	
実施日	令和3年7月1日木曜日～8月31日火曜日							
活動場所(建物名等)	村内全域(各世帯、事業所、当事者グループ、地域団体ほか)							
協力団体	ボランティア連絡協議会、婦人連絡協議会、村内公共・民間事業所ほか							
総数 (体験者数+協力者数)							167名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	4	9	1	0	0	133	147名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						20	20名	
活動の様子など	<p>期間中、各家庭、当事者団体、事業所等において収集活動に積極的に取組まれていた。特に、地域の女性グループは組織ぐるみでおこなっており、ボランティア活動への関心の高さが伺えた。</p> <p>この取り組みを通じて、SDGsの普及啓発やボランティアの意識を高めると共に、貧困や自然環境について考え、「今、自身にできるボランティア」として活動につなげるきっかけとなった。</p> <p>収集したキャップ約80キログラムはリサイクル業者へ寄贈し、20人分相当のワクチン費用に還元されることとなった。</p> <p>今後も、住民や関係機関と協働し、この取り組みを継続的に推進していきたい。</p>						   <p>↑全戸配付チラシ</p>	

社 協 名	椎葉村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		元気与え隊						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	ボランティアを通して高齢者と交流を図り、福祉への理解と関心を深めることを目的に、ふれあいいきいきサロンでの調理ボランティアを体験を行う。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年7月1日（木）							
活動場所 (建物名等)	川の口集会センター							
協力団体	川の口サロン							
総 数 (体験者数+協力者数)							14名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			2			11	13名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						1	1名	
活動の様子など	<p>川の口地区のふれあいいきいきサロンに参加した。参加者の昼食(ハンバーグ・サラダ)を、調理ボランティアの方と一緒に準備した。</p> <p>中学生ボランティアの2人は、自宅で家族のご飯を作ることがあり、その経験から限られた時間の中で手際よく作業を行っていた。</p> <p>昼食を食べたサロン参加者からは「美味しい。元気がでる」との嬉しい言葉をいただいた。</p>							



社 協 名	椎葉村社会福祉協議会
-------	------------

ボランティア体験プログラム名		商品作りを手伝い隊						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	障がい者の方への理解と福祉に対するの関心を育てることを目的に、障がい者が実施している作業の介助やお手伝いを行う。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年7月2日（金）							
活動場所 (建物名等)	日中一時支援事業所「しいのき」の事務所							
協力団体	日中一時支援事業所「しいのき」							
総 数 (体験者数+協力者数)							11名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
			2				2名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
						9	9名	
活動の様子など	<p>日頃、障がい者の方が行っている蕎麦包装作業の手伝いを行った。活動者は「しいのき」利用者の方と一緒に作業しながら、蕎麦包装作業（蕎麦を包む、シールを貼る、紐で結ぶ、箱詰めする）がスムーズに進むように作業状況の確認を行った。</p> <p>また、一緒に作業する中で障がい者の方と交流を持つ良い機会となった。</p>							

社 協 名	高千穂町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		「みそ玉作り 体験」 ～「みそ玉」を作ってフードバンクに寄付しよう～						
活動の目的や ボランティア体験者の活動内容	地域の高齢者の方とのふれあいやフードバンク事業への取組みを通して福祉に対する理解と思いやりの心を育みボランティア活動のきっかけ作りに繋げることを目的とした。 おむすび便事業の一貫として、フードバンク利用家庭へ届けるためにみそ玉作りを体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年8月4日（水）							
活動場所 (建物名等)	岩戸下永の内公民館							
協力団体	日本赤十字宮崎県支部高千穂町分区							
総 数 (体験者数+協力者数)							20名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	1	2				7	10名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						10	10名	
活動の様子など	<p>コロナ禍の中、感染防止対策を徹底し、当初の計画より規模を縮小して開催した。</p> <p>始めに社協で行っているフードバンク事業（おむすびん）の説明を行い、生活困窮者への理解と今回作った「みそ玉」が届けられることを伝えた。みそ玉作りの手順を教わりながら作業を進め、出来上がったみそ玉は、翌日のフードバンク宅配日にそれぞれの世帯に配布した。後日、フードバンク利用者の方より「大変美味しかったです。便利なので、自分でも作ってみようと思います。」と感想が聞かれ好評だった。</p> <p>作業終了後、みそ玉の他に卵焼きなどのおかずも作り食事を取りながらボランティアの方と交流した。また、自分たちの身体を作る「食」について、感心や興味へ繋げることができた。</p>							



社 協 名	高千穂町社旗福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名	～「絵てがみ」を書いて高齢者施設に届けよう～							
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	コロナ禍で、人と人との繋がりが希薄になる中、高齢者施設の利用者の方々との繋がりを絶やさない事を目的に「絵てがみ」を作成し、高齢者施設へ届ける活動を実施した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年8月3日（火）							
活動場所(建物名等)	旭ヶ丘保育園内上野小学校児童クラブ							
協力団体	高千穂町ボランティア連絡協議会 旭ヶ丘保育園 上野小学校							
総 数 (体験者数+協力者数)							27名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
		21					21名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一 般	計	
						6	6名	
活動の様子など	<p>コロナ禍の影響で、養護老人ホームの慰問ができず、ふれあい交流が叶わなかったの で、絵てがみに気持ちを添えて届ける活動を行った。</p> <p>季節の花や食材等を題材に絵手紙を作成。子どもたちも楽しみながら、一枚一枚丁寧に仕上げ、心のこもった素敵な作品がたくさん出来上がった。</p> <p>施設の高齢者の方々にも大変喜んでいただいた。後日、お返事の絵手紙を頂いたがこちらも力作揃いの素敵な作品でした。</p>							

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------


ボランティア体験プログラム名	夏ボランティア体験隊！						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	思いやりの心を養い、福祉への関心を育てることを目的に各福祉施設やいきいきサロン会場にてボランティア活動を実施した。						活動分野
							福祉
実施日	事前学習 令和3年7月29日（木） 体験期間 8月中						
活動場所(建物名等)	福祉センター、町内福祉施設、町内各サロン会場、						
協力団体	町内各施設、サロン指導員						
総 数 (体験者数+協力者数)							16名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
			10				10名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						6	6名
活動の様子など	<p>事前学習ではいきいきサロン指導員より、サロン内容について説明を受けたり、サロンの重要性を学んだ。当日は、サロン会場の準備や利用された高齢者の方の移動介助、サロンの運営をサポートした。また、一緒に百歳体操やレクリエーションを行った。</p> <p>この活動を通して、高齢者の方への接し方や車椅子の使い方も学ぶことができた。</p> <p>その他に、保育園や子育て支援センターで子どもたちの着替えの介助等の手伝いを体験した。</p> <p>事前学習で学んだ事を活かすことができ、一連の活動体験を通し、生徒の成長を見ることができた。</p>						

社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		加勢の日～花と笑顔でつなげよう🌸～						
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	コロナ禍で外出できない町内の高齢者世帯への見守りと交流を目的に自宅を訪問し、清掃、傾聴ボランティア活動を体験した。						活動分野	
							福祉	
実施日	令和3年8月7日（土）							
活動場所(建物名等)	福祉センター、町内お一人、お二人暮らし高齢者宅							
協力団体	いごかせ会、五ヶ瀬町ボランティア連絡協議会、G音楽たい							
総 数 (体験者数+協力者数)							30名	
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	1	2	2	0	0	8	13名	
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計	
	0	0	0	0	0	17	17名	
活動の様子など	<p>年齢が異なる3名でグループを作り、高齢者宅を訪問し、お話を聞いたり、自宅まわりの清掃を行った。</p> <p>その際、暮らしの中での注意点を伝えたり、困り事がないかを聞き取った。また、ボランティアの方が寄せ植えした花も届け、高齢者の方に喜んでいただいた。</p> <p>活動後、訪問先の情報や今後の課題についてみんなで共有を行った。この活動を通して人と人との繋がりの大切さを再確認できた一日となった。</p>							



社 協 名	五ヶ瀬町社会福祉協議会
-------	-------------

ボランティア体験プログラム名		配食サービスボランティア ～食を通して笑顔を届けよう！～					
活動の目的やボランティア体験者の活動内容	地域の高齢者の見守りや人と人とのつながりを大切にするを目的に配食サービスのメニューの考案やメッセージ付きレシピカードの作成、お弁当配達を通しての見守り活動を体験をした。					活動分野	福祉
実施日	令和3年8月17日（火）～20日（金）						
活動場所 (建物名等)	福祉センター、町内お一人、お二人暮らし高齢者宅						
協力団体	給食サービスいちご会、加工所よこっちょ						
総数 (体験者数+協力者数)							11名
うち、ボランティア体験プログラム参加者数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
		8					8名
うち、ボランティア体験プログラムを企画運営したボランティア数	小学生未満	小学生	中学生	高校生	短・大学生 専門学校生	一般	計
						3	3名
活動の様子など	<p>五ヶ瀬町で取り組んでいる「早寝・早起き・朝大豆」運動での小中学生発案の大豆メニューを生かし、配食サービスと協働のもと行った。</p> <p>事前に担当者から配食サービスについての仕組み等について学んだ。その後、子どもたちにその日のお弁当に入る大豆料理のレシピ付きメッセージカードを作成してもらった。</p> <p>配達の際はお弁当にメッセージカードを添えて、高齢者の方へ届けた。届ける際、ひとりひとりに声掛けを行い、見守り活動も行った。</p> <p>子どもたちが届けてくれたこともあり、高齢者の方々には大変喜ばれた。</p> <p>また、見守り活動の中で安否確認の重要性についても学ぶことができた。</p>						

みやざきボランティア体験月間2021

実施要領

趣 旨

宮崎県社会福祉協議会では、平成8年から、毎年7月から9月までの3か月間を「みやざきボランティア体験月間」として位置づけています。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、「新しい支え合い」の形を模索する日々が続きましたが、コロナ禍にあってもつながりを絶やすことなく、新しい生活様式に沿った、新たな視点でのボランティア活動への取り組みが求められています。

「みやざきボランティア体験月間」では、市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)やNPO・ボランティア団体の協力のもと、感染予防対策を講じながら、福祉、自然・環境、まちづくりなど様々な工夫をこらしたボランティア体験プログラムを提供し、県民のボランティア活動への参加ときっかけづくりを応援します。

名 称

みやざきボランティア体験月間2021

実施期間

令和3年7月1日(木)から9月30日(木)まで

提唱団体

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会

後援団体

宮崎県
宮崎県教育委員会
宮崎県市町村ボランティア連絡協議会

実施団体

市町村社会福祉協議会(ボランティアセンター)、NPO・ボランティア団体



ボランティア体験プログラムの内容について

各市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）が下表の例を参考に参加される方が実際のボランティア活動を体験できるプログラムをNPO・ボランティア団体と協力して企画実施します。

活動分野	種類		内容例示
自然・環境	自然や環境を守るための活動		道路・公園などの清掃、海浜美化活動（ごみ集め）、植樹、森林の間伐、野鳥の保護活動、廃油を使った石鹸作りのサポートなど
国際交流・多文化共生	国際交流・国際協力に関する活動		通訳、難民救援、技術援助、砂漠の緑化活動（植林）、海外への食料援助、留学生支援 など
	多文化共生に関する活動		多言語での生活・医療相談、外国人の子どもサポート、多文化共生の理念を広げる活動 など
福祉	高齢者を対象とした活動		高齢者と若者（子ども）との交流の場づくり、高齢者へのレクリエーション指導及び相手、生きがいをづくりのための技能指導、友愛訪問や散歩相手、寝たきりやひとり暮らしの高齢者への給食サービス など
	障がい者を対象とした活動		視覚障がい児やし体不自由者の学校などへの誘導、障がい者へのレクリエーションまたは技能指導、在宅障がい者への友愛訪問・訪問介助サービス、障がい者の社会参加協力（車イスの提供など）、点訳・朗読・レコーディング・手話 など
	乳幼児・児童・青少年を対象とした活動		赤ちゃん相談、公園などでのレクリエーション指導、子ども会の援助・指導、児童保育、いじめ電話相談 など
防災・安全	安全な生活のための活動		地域の危険場所点検のための巡回、通学路の安全確保活動、交通安全運動 など
	防災・被災者支援に関係した活動		救援物資の確保・輸送、炊き出しなどの災害時の救援、がれき・土砂の撤去、家屋の片付け・清掃補助、仮設住宅への引越補助、災害復旧のための募金活動、病院等への移送・送迎、生活物資の提供・運送、被災地の高齢者の話し相手、被災地の子どもの遊び相手、復興の状況に関する情報提供、復興支援イベントの企画・実施、「火の用心」の巡回 など
まちづくり	まちづくりのための活動		道路に花を植える、駅の自転車置き場の整理、都市と農村の交流、地域団体のリーダーとしての活動、村おこし・地域おこしの活動 など
文化・芸能	スポーツ・文化・芸術に関係した活動	スポーツ	スポーツ教室における指導、スポーツ会場の警備、スポーツ大会の運営 など
		社会教育	各種講習会の開催サポート、情報弱者（パソコン）の支援など
		文化・芸術	音楽家・芸術家の育成支援、市民劇団の開催、演劇の鑑賞会の企画、伝統文化の継承と普及 など
その他	その他の活動		生活困窮者への支援、ボランティアのサポート など

実施に当たっての留意事項

- 1 ボランティア体験の内容や参加者募集等の情報発信は、宮崎県ボランティアセンターホームページ「ぶーら・ボ～ラ」を御活用ください。(<http://www.bura-vola.org/>)
- 2 宮崎県社会福祉協議会は県内で実施されたボランティア体験プログラムを報告書として作成し、広く情報公開してまいりますので、市町村社会福祉協議会（ボランティアセンター）においては事業終了後ボランティア体験の様子を別添様式により御報告ください。

なお、報告する場合の参加者数については、ボランティア活動を体験した参加者とそれ以外の関係者の人数がそれぞれ分かるよう集計してください。

御報告いただいた内容は、本会ホームページ、Facebook 上でも公開させていただく場合がありますのであらかじめ御了承ください。

※新型コロナウイルス感染症の感染状況から中止する場合があります。



みやざきボランティア活動推進
マスコットキャラクター「ボラみん」

【問合せ先】

社会福祉法人 宮崎県社会福祉協議会 地域福祉部
地域・ボランティア課（宮崎県ボランティアセンター） 担当：鈴木
〒880-8515 宮崎市原町2番22号 宮崎県福祉総合センター 本館3階
TEL：0985-25-0539 FAX：0985-31-6575

たくさんの御参加、
ありがとうございました。

